

(2023 年度) 日本認知・行動療法学会 SIG 活動報告書

1. 日本認知・行動療法学会 SIG 名 (周産期メンタルヘルス SIG)
2. 記入者 (土井理美)
3. 一年間の活動実施報告 (各企画の日付、SIG の参加者、実施した活動の内容や成果、業績などについて報告してください。なお、SIG で開かれる活動において、年会費や参加費などで収入が発生した場合、収支報告 (様式任意) を別途提出してください。)

	活動内容、成果、業績等
4 月～ 8 月	SIG メンバーの募集、Slack ワークスペースの開設 (参加者は主催メンバーを合わせて約 30 名)
9 月	SIG メンバーでのオンライン MTG (自己紹介、ネットワークづくり)
10 月	日本認知・行動療法学会期間中に学会参加する SIG メンバーとランチ MTG (情報交換) 周産期メンタルヘルス学会期間中に学会参加する SIG メンバーとランチ MTG (情報交換)
11 月	今後の SIG の方向性を検討するために、参加できる SIG メンバーでオンライン MTG (様々な職種、立場から、現場の課題や解決すべきこと、SIG でできることを議論)
2 月	主催メンバーで SIG として 2 つのプロジェクトを進めることを検討 プロジェクト 1 : 産婦人科等で活動する心理職等が身につけておきたいスキル研修プログラムの開発 プロジェクト 2 : 周産期 1day-CBT を実装及び普及を目指した研究活動
3 月	各プロジェクトのリーダーに、主催メンバー以外の SIG メンバーを配置し、リーダーおよび主催メンバーとの事前 MTG

4. 次年度の活動予定 (300 字程度)

2023 年度をかけて、本 SIG だからこそできるプロジェクトを決定した。2つのプロジェクトを SIG メンバーとともに進めていくために、主催メンバーはサポートに周り、SIG メンバーの複数名にリーダーを依頼した。主催メンバーと各プロジェクトリーダーでプロジェクトの進め方を協議した後、他の SIG メンバーに各プロジェクトを説明し、プロジェクトの参加メンバーを募集する。プロジェクト参加メンバーごとに適宜 MTG を行う予定である。また、お互いの進捗を共有する MTG を年に数回行う。日本認知・行動療法学会では、これまでの SIG メンバーでの MTG で共有されてきた現場の状況や周産期メンタルヘルスの課題、解決するための方策などを活動報告として自主企画シンポジウムにて発表する予定である。